

# 湖畔の風

## ★ 震災復興研修・宮古市災害資料伝承館

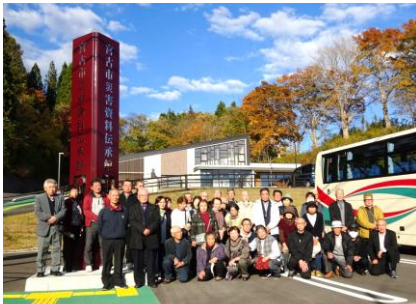
—総務企画部—

11月6日(木)総務企画部の視察研修が開催されました。

東日本大震災から14年以上が経過し、沿岸地方の生活環境や道路、様々な施設等の整備も進んで来ていますが、現在の復興状況を確認することと、復興支援を目的に研修を実施しました。

参加者は39名。研修先は宮古市田老の「宮古市災害資料伝承館」と、被災し新しく造船された「宮古うみねこ丸」で海上から震災の爪痕を研修してきました。

宮古市は、明治29年、昭和8年、平成23年(東日本大震災)と度重なる大津波により壊滅的な被害を受け、多くの尊い人命と財産を失ってきました。そのたびに被害を克服し、復興の歩を進めてきました。今回、研修した宮古市災害資料伝承館は、そのような津波防災等の取り組みなど、後世に伝えていくための施設です。



宮古市災害資料伝承館（田老）にて津波防災等の取り組みについて学習しました



宮古うみねこ丸で浄土ヶ浜沿岸を遊覧しました。ウミネコの餌付け。ちぎったパンを投げると上手にキャッチ！

## ★ 風力発電所視察研修 —教育振興部—

例年、10月の最終日曜日に開催してきた「田瀬湖さわやかウォーキング」は、田瀬ダム水位上昇のため、海洋センターの使用ができないなどの理由から中止とし、10月31日(金)に「住田遠野ウィンドファーム(風力発電所)の研修と民話の里遠野の町散歩」を企画しました。15人の参加があり、はじめに3年前、田瀬地内の道路に送電線の埋設工事を行った発電所の研修をしました。遠野市小友にある事務所で発電や送電の仕組みの説明を受け、バスで貞任山にある実際の発電所を見学しました。

ブレード(風車)の長さが約57m重さ17t。それが3枚、地上約114mのところまで回って発電する国内最大級の風車です。このような風車が27基あり、総出力113,400kw、約8,400世帯相当の発電を行っているそうです。

その後は遠野市内自由散策ということでしたが、時間に限りがあるので、「とおの物語の館」や「こども本の森」で学習しました。



風力発電所の前で記念写真  
高さにびっくり。約114m



ブレード(羽)  
長さ57mとこ  
ろの幅が3mぐ  
らいありました

# ★田瀬地区世代間交流第2回モルック大会

令和7年11月9日(日)田瀬振興センターグラウンドで、田瀬地区世代間交流第2回モルック大会が開催されました。

36名が参加して、試合を行いました。

公民館単位3～4人を1チームとし、9チームを作り、3コートに分かれて予選を行いました。

順番を入れ替えながら3ゲーム行い、各コートの1位、2位、3位ごとに決勝戦（順位決定戦）を行いました。

モルック競技は、モルック(薪のような木片)を順番に投げて、スキttl(木製のボーリングのピンのようなもの)を倒し、複数本倒れた場合はその本数がポイント、1本だけの場合は書かれている数字がポイントとなり、50点にする競技です。50点ちょうどにするのは難しいですが、木片を投げるだけなので、年齢や男女関係なくできるニュースポーツです。今回で2回目ですが、団体競技のせいもあり、たいへん盛り上がり、年1回では足りないので数回やってほしいという要望もありました。

優勝 小倉Cチーム (菅谷 公子、小田島功一、菅原 亀三、朝倉 務)

準優勝 白土Bチーム (菅原 愛子、多田 修子、菅原 勇一、菅谷 毅)

第三位 小倉Aチーム (門岡京子、菅原 講作、横山 孝雄)

第四位 中通Bチーム (内舘 慶子、内舘 良悦、佐藤 松雄)

50点到達最短賞 中通Bチーム (予選 7ターン)

特別賞(第5位) 小倉Bチーム (小原 留美子、菅谷 正孝、伊藤 美徳、桜田 繁)



スキttlを並べて準備OK！  
試合開始です



伊藤望結さん(中2)の元気な  
選手宣誓です



団体優勝。おめでとうございます！





共通する信仰の姿として、お祭りの日にはキュウリを供える、あるいは井戸の近くにキュウリをぶら下げることが行われていました。なぜキュウリなのでしょう。『遠野物語』（註④）では、キュウリは河童（かっぱ）の好物と書かれています。田瀬を流れる猿ヶ石川の上流は遠野ですが、「おてんのうさま」には河童にまつわる伝承はありません。

先に、牛頭天王は京都の八坂神社の祭神だと書きましたが、この八坂神社の祭礼にキュウリが出てきます。北上の諏訪神社の境内社の一つに八坂神社がありますが、ここでは毎年7月14日に「きゅうり天王宵宮祭り」が行われていることがわかりました。お参りした人はお賽銭の代りに「きゅうり」をお供えするそうです。

その理由は、その昔、疫病が流行し井戸などの水が飲めなくなった時に、水分の多い「きゅうり」を食べることによって水分を補給し命を永らえたことから、疫病退散の力がある牛頭天王を祀る八坂神社にご加護を賜わるためきゅうりを奉納することになりました。

これで田瀬でも、キュウリを供え井戸の近くに「きゅうり」を吊るしたのでしょう。



中通おてんのうさまの社  
号額2枚あり、左は「天  
王社」右「祇園天王社」  
（どちらも右から読む）

小倉にも「おてんのうさま？」

これから先は筆者の推論です。中通・白土に「おてんのうさん」があったことは、田瀬は昔から、小倉・中通・白土と三つの集落がありましたから、地域の万病退散を祈ることを考えれば小倉にも「おてんのうさま」はあったに違いありません。白土の天王さまのお堂にある棟札には「牛頭天王が村中の万病退散子孫繁栄を祈る処」と書かれてあります。

中通の天王さまの棟札には、「塚長根神社常宮に止める処」とあり、天王さまが塚長根神社から来られて常に留まり鎮まった（註③）場所と解釈します。

とすると、天王さまは中通に来る前に塚長根神社から来たことになります。塚長根神社はどこにあるのか、もしくはあったのか。去る7月2日、田瀬振興センターで令和7年度の「田瀬地区ふれあい昼食会」が開催され、田瀬の80歳以上の高齢者の集会があり、筆者は参加した人に聞いて回りました。

その結果、白土の天王さまの所在地が確認できましたし、小倉の人からは「塚長根神社」は知らないが、「塚長根」の地名は聞いたことがあるという情報を入手。調査の結果『全国文化財総覧』（註⑤）の中に「塚長根遺跡」が田瀬5区から7区の間には存在することがわかりました。これは旧東和町時代の調査で、縄文時代から平安時代にかかる埋蔵文化財らしい。ダムによる水没地より上のようなようですが、残念ながら今のところここまで。小倉地区の天王さま発見にはいたりませんでした。情報提供お願いします。

（註③） 次号で詳しく棟札の文字について解説をします。

（註④） 民俗学者の柳田国男が明治43年（1910）に発表した遠野地方に伝わる民話、昔話を編集する形で出版された、日本の民俗学の先駆けとされた作品。

（註⑤） 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が全国の市町村から報告された文化財報告書をまとめたもの。因みに、同名の塚長根遺跡は青森県七戸町にもありました。

## お知らせ！



「マジック教室」を開催いたします。

マジックでびっくり、ゲラゲラ大笑い。タネや仕掛けは頭の体操、楽しく脳トレしましょう！

皆さん、お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

開催日： 令和7年12月11日(木)

時 間： 午前10時30分から12時

講 師： 二本木 光史 氏 (市内西宮野目在住)

場 所： 田瀬振興センター 会議室

参加費： 無料

※ 10時より、振興センター周辺をドローン撮影した映像を上映します。ご覧になりたい方は時間までにおいでください。



### 12月の行事予定

- ・マジック教室 12月11日(木) 10:30～
- ・ピザ作り体験(子ども会) 12月21日(日) 10:00～

### 1月の行事予定

- ・カルタ取り大会
- ・田瀬太鼓発表会

都合により変更になることもありますのでご了承ください。

#### 編集後記

今年も残すところ1ヶ月となりました。日暮れも早く、4時半には暗くなります。この時期、田瀬振興センター近くでは、すてきなイルミネーションが見られます。今年も点灯が開始されました。暗闇に浮かび上がるイルミネーションに寒さも忘れませんが、ご覧になる方は、寒さ対策を。また、個人のお宅なので迷惑のかからないように、マナーを守ってご覧ください。

### 田瀬地区の人口

—令和7年10月末現在—

(前月比)

行政区	世帯数	人 数		
		男	女	計
田瀬第1	65	76	85	161
田瀬第2	26	29(-1)	28	57(-1)
田瀬第3	67	63(-1)	78	141(-1)
計	158	168(-2)	191	359(-2)

花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問い合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで